

# 数字から見えるあらかわの財政



区では、予算・決算書だけでは把握しにくい区財政の状況を区民の皆さんに分かりやすくお知らせするため、総務省方式改訂モデルに基づく財務書類4表を作成し、公表するとともに、平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率も公表しています。これら財務書類等の概要と、そこから見える区財政の状況についてお知らせします。  
 ※各表は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります

問合せ 財政課 ☎内線 2 1 2 2

「平成26年度荒川区の取組と財政状況  
 - 荒川区包括年次財務報告書 -」をご覧ください

財務書類に行政分野別の分析や非財務情報を加えた報告書です。区役所2階情報提供コーナー、各区民事務所・図書館等で配布しています。

## 財務書類4表から見た平成26年度の財政状況

### 貸借対照表

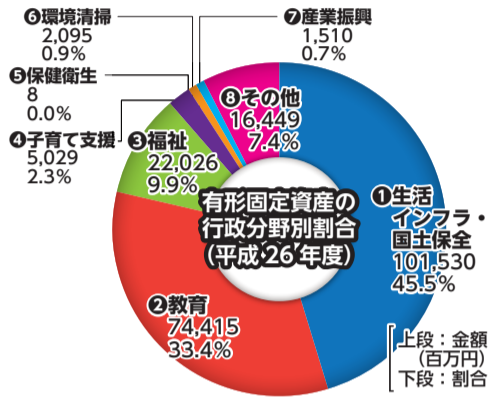
住民サービスを提供するために区が保有している財産(資産)と、その資産を形成するための財源(負債・純資産)について総括的に示したものです(表1)。

資産の総額は2700億円で、前年度と比較して36億円増加しています。これは主に公共資産が26億円増加したことによるものです。

将来世代の負担となる負債の額については、将来の退職に備えた退職手当引当金残高が減少したことなどに伴い、2億円減少しています。

表1 貸借対照表 (各年度3月31日現在) (単位:百万円)

資産の部	平成25年度	平成26年度	差額	負債の部	平成25年度	平成26年度	差額
公共資産	230,098	232,699	2,602	固定負債	27,587	27,137	△449
投資等	18,173	17,397	△776	流動負債	4,562	4,816	254
流動資産	18,192	19,928	1,736	負債合計	32,149	31,953	△196
<b>資産合計</b>	<b>266,463</b>	<b>270,024</b>	<b>3,561</b>	純資産の部	平成25年度	平成26年度	差額
				純資産合計	234,315	238,072	3,756
				負債および純資産合計	266,463	270,024	3,561



### 純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産」が、1年間でどのように変動したかを示したものです(表3)。

平成26年度末(期末)の純資産残高は、2381億円となり、平成26年度当初(期首)に比べて38億円増加しました。

表3 純資産変動計算書 平成26年4月1日～平成27年3月31日 (単位:百万円)

	金額
期首純資産残高	234,315
純経常行政コスト	△75,356
財源調達	79,046
地方税	15,809
地方交付税	0
経常補助金	19,823
建設補助金	1,237
その他	42,177
資産評価替・無償受入	17
その他	50
<b>期末純資産残高</b>	<b>238,072</b>

38億円増加

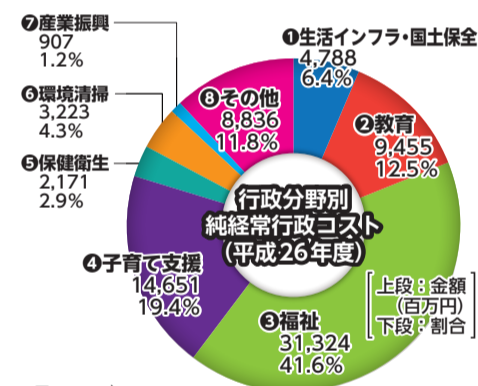
### 行政コスト計算書

人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない行政サービスにかかる経費(経常経費)とその行政サービスの直接の対価として得られた財源(経常収益)とを対比して示したものです(表2)。

「経常経費」から、「経常収益」を差し引いた「純経常行政コスト」は753億円です。

表2 行政コスト計算書 (各年度4月1日～3月31日) (単位:百万円)

	平成25年度		平成26年度		差額
	金額	構成比	金額	構成比	
経常経費	78,170	100.0%	78,727	100.0%	557
人にかかるコスト	15,043	19.2%	15,279	19.4%	236
物にかかるコスト	18,615	23.8%	19,918	25.3%	1,303
社会保障給付等のコスト	43,960	56.2%	43,128	54.8%	△831
その他のコスト	552	0.7%	402	0.5%	△150
経常収益	3,319		3,371		52
うち使用料・手数料	2,272		2,295		23
<b>純経常行政コスト(経常経費-経常収益)</b>	<b>74,851</b>		<b>75,356</b>		<b>505</b>



### 資金収支計算書

1年間の行政活動における現金の出入りの情報を性質の異なる3つの区分に分けて示したものです(表4)。

地方債の発行や償還等の影響を除いた「基礎的財政収支」は11億円のプラスとなっています。

表4 資金収支計算書 (各年度4月1日～3月31日) (単位:百万円)

	平成25年度	平成26年度	差額
経常的収支	6,460	7,678	1,217
公共資産整備収支	△2,078	△3,110	△1,032
投資・財務的収支	△3,988	△3,803	185
当期収支	394	765	371
期首資金残高	2,080	2,474	394
期末資金残高	2,474	3,239	765
(基礎的財政収支)			
収入総額	83,402	88,158	4,756
支出総額	△83,008	△87,393	△4,385
地方債発行額	△213	△3,005	△2,792
地方債元利償還額	2,502	2,354	△149
財調基金等増減額	802	987	185
<b>基礎的財政収支</b>	<b>3,486</b>	<b>1,101</b>	<b>△2,384</b>

## 区の財政状況は良好です

4つの健全化判断比率と早期健全化基準、財政再生基準の2つの基準から自治体の財政状況をチェックします。区の健全化判断比率は下表のとおりです。

いずれの指標についても早期健全化基準を大きく下回る結果となっており、健全な財政運営を行っています。

### 健全化判断比率

	荒川区の数値 (平成26年度決算)	早期健全化基準 (荒川区の場合)	財政再生基準
実質赤字比率	—(※1)	11.25%	20.00%
一般会計等の実質赤字の比率			
連結実質赤字比率	—(※1)	16.25%	30.00%
全会計の実質赤字の比率			
実質公債費比率	△0.1%	25.0%	35.0%
公債費および準公債費の比重を示す比率			
将来負担比率	—(※2)	350.0%	
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債をとらえた比率			

※1 赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表記しています  
 ※2 将来負担比率は、数値がマイナスのため「—」と表記しています

## 区民一人当たりの状況

平成27年4月1日現在 人口総数20万9449人

### 資産

区民一人当たりの資産	128万9000円(前年比 6000円増)
総額	2700億円/人口

### 負債

区民一人当たりの負債	15万3000円(前年比 2000円減)
総額	319億円/人口

### 純経常行政コスト

区民一人当たりの純経常行政コスト	36万円(前年と同額)
総額	753億円/人口